

# たかはな

高花平小学校校長通信  
平成21. 5. 27. (水)

No. 4

## ☆シリーズいじめ②☆ ~いじめは**びょうき**?~



ぜんかい がっこう はんざいこうい わたし ぜったい  
前回の《学校だより》で、『いじめは犯罪行為、私たちは絶対  
ゆる か まちが こま  
に許さない!』と書きました。間違えていただくのですが、  
わたし ぜったい ゆる おも  
私たちが『絶対に許さない!』と思っているのは《いじめの  
こうい  
行為そのもの》であって、《いじめをした(あるいはしている)子  
ども》ではありません。今回は、このことを聞いていただきたい  
おも  
と思います。

わたし つねづね びょうき し おも  
私は常々、『いじめは病気のようなものかも知れない。』と思  
ひと びょうき けつ びょうき ひと  
っています。人が病気にかかるのは、決して病気にかかる人

わる  
が悪いわけではありません。【まあ私のように、生活習慣から来るメタボのせいで高血圧になるの  
べつ ひと わる かぜ ひ い はなし き とく こ  
は別としてです】。『あの人は悪い人だから風邪を引いたんだ。』と言う話は聞きません。特に子  
ばあい ほんにん と ま かんきょう く なや こう とも いや  
もの場合、本人を取り巻くいろいろな環境から来るストレス、悩みなどが高じて、つい『友だちに嫌  
なことを言ったりしたりしてしまふ。』ということがあると思います。その行為自体は、決して許されるこ  
とではないのですが、その子が自分のしたことを深く反省して謝罪し、今後そのようなことをしなく  
なるのであれば、その『いじめをしてしまった子』は、他の子同様に、大切にされなければならない  
おも  
と思うのです。

いじめは、周りの大人たちの子どもへの関わり方が原因になっていることもあります。現実にいじ  
めにあった子どもさんやその保護者の方には納得していただけないかもしれませんが、『いじめる  
こ  
子もまた、ある意味被害者である。』と言える部分があるのではないのでしょうか。わたし とく  
しょうがくせい だんかい かがいしや かん  
小学生の段階では、『100%の加害者はいない』と感じています。子どもの心をきちんと汲み取っ  
てやれなかった周りの大人の関わりが、『いじめ』を生み出すこともあるのではないかと  
おも  
思うからです。その意味で、私たち学校職員も、常にアンテナを高くして、子どもの心を正しくキャッチする  
よう  
ように心がけなければなりません。周りの大人の心無い一言が、いじめの被害者や加害者を作っ  
ているかもしれないのですから。

ぜんごう はな なに いちばんさき かんが  
前号でもお話したように、何よりも一番先に考えなければならないことは、『いじめを受けた子  
ぜんめんてき まも  
を全面的に守る』ということです。でも、それ  
あ わたし おとな  
と合わせて私たち大人がしなければなら  
ないことは、『いじめをしてしまった子』のその後  
せいちよう みまも  
の成長を見守ることで。『いじめをしてしま  
ったこと』・『反省したこと』を、その後の生活



に生かし、『いじめを許さない子ども』に育てていくことです。私たちは今後も、いじめが起これば、それに対して全職員で毅然として戦っていきます。『差別意識』は、大人でも子どもでも、その人の心の弱い部分にそっと忍び寄り、そして巢食っていきます。誰もが心の奥底には、何らかの『差別意識』を持っているという人もいます。私たち大人が、まず、きちんとした規範意識や倫理観を持って子どもたちに接することが必要です。いつでも、『それはだめ！』『それは間違っている！』と、はっきり言える大人でありたいと思っています。子どもには『正しいことを教えてもらう権利』があり、大人には『正しいことを教える義務』があると思うのですが、どうでしょうか。

## ☆体力テストはたいへんだ～！☆



5月19日(火)・20日(水)の両日、全学年を対象に『体力テスト』を実施しました。二日も暑い日だったので子どもたちは大変だったでしょうが、午前中、運動場や体育館から元気な声が聞こえてきました。すでにお子さんから聞いておられることと思いますが、種目は、①上体おこし《写真B》・②反復横とび・③立ち幅とび・④ソフトボール投げ《写真A》・⑤20mシャトルラン・⑥握力・⑦長座体前屈・⑧50m走、の8つです。保護者の皆さん方には、『シャトルラン』という種目が聞き慣れないかも知れません。『シャトル』というのは『繰り返し往復する』という意味があり、『シャトルバス』『スペースシャトル』『バドミントンのシャトル(羽根)』のように使います。『シャトルラン』というのは、20m離れた線と線の間を、繰り返し何回も音楽に合わせて往復する種目のこと

です。途中、音楽はだんだん早くなりますので、2回続けて音楽に間に合わなくなったら、そこで終了して、そこまでに走った回数がその子の記録ということになります。けっこうキツイ種目です。また、校長室のすぐ前で『ソフトボール投げ』をしていたので近くに行ってみていたら、『校長先生もやってみなよ。』と言われたので、調子に乗って思い切り投げてしまいました……。明日の朝、左腕(左利きなので)が上がるかどうか心配です。『最近、子どもたちの体力や運動能力が落ちてきた。』と言われ始めて久しいですが、さて、高花平小学校の子どもたちの体力はどうでしょうか。結果が出ましたら、またお知らせしますので、楽しみにしてお待ちください。

### お願い

昨年度、6年生のお便りでお知らせしたように、今後、児童の『故意』または『重大な過失』により、ガラス等の物品が破損した場合は、ご相談の上、費用の一部または全部を保護者の方にご負担いただくことがございますので、ご理解の上、ご了承いただきますよう、お願い申し上げます。